

# 「せめぎあう「ことば」—明治文明開化期の諸相— 【関連図書リスト】

## ■新体詩の本文を収めている本

外山正一, 矢田部良吉, 井上哲次郎. 『新体詩抄』. 日本近代文学館, 1971, (特選名著複製全集近代文学館). (丸屋善七, 明治15年刊の複製.)  
請求記号: 918/2/9A

外山正一ほか. 矢野峰人編. 『明治詩人集(一)』. 筑摩書房, 1972,  
(明治文学全集, 60). 請求記号: 910.8/60/53

山宮允編. 『創成期』. 河出書房, 1950, (日本現代詩大系, 1).  
請求記号: 911.1/1/64

## ●新体詩に注釈をほどこしている本

西田直敏. 『新体詩抄』: 研究と資料. 翰林書房, 1994.  
請求記号: 911.5//241

『明治大正訳詩集』. 角川書店, 1971, (日本近代文学大系, 52).  
請求記号910.8/52B/63

『新体詩; 聖書; 讚美歌集』. 岩波書店, 2001,  
(新日本古典文学大系, 明治編;12). 請求記号910.8/12/83A

関良一. 『近代詩』. 有精堂出版, 1963, (近代文学注釈大系, 2).  
請求記号: 910.8/2B/61

## ◆新体詩とその周辺を考えている本

柳田泉. 『明治初期の文学思想 下巻』. 春秋社, 1965,  
(明治文学研究, 6). 請求記号: 910.2/6/274

本間久雄. 『明治文学史 下巻』. 東京堂, 1937,  
(日本文学全史, 11). 請求記号: 910.2/11/159

日夏耿之介. 『明治大正詩史 卷ノ上』. 創元社, 1948.  
請求記号: 911.1/1/43

越智治雄. 『近代文学成立期の研究』. 岩波書店, 1984.  
請求記号: 910.2//975

関良一. 『近代詩の形態と成立』. 教育出版センター, 1976, (研究選書, 15).

野山嘉正. 『日本近代詩歌史』. 東京大学出版会, 1985.

赤塚行雄. 『新体詩抄』前後: 明治の詩歌. 学芸書林, 1991.

三好行雄. 『詩歌の近代』. 筑摩書房, 1993, (三好行雄著作集, 7).  
請求記号: 910.9/7/297

三浦仁. 『詩の継承: 『新体詩抄』から朔太郎まで』. おうふう, 1998.

宮崎真素美, 遠山一郎, 山口俊雄. 『言葉の文明開化: 継承と変容』.  
学術出版会, 2007. 請求記号: 910.2//2003

「明治詩探究」の会. 『明治詩探究』. 1990-2006, (1-4). \* 雑誌: P911.1-172

## ▲さまざまな視点の集う本

野山嘉正編.『詩う作家たち: 詩と小説のあいだ』. 至文堂, 1997.

請求記号: 910.2//1293

村野四郎ほか編.『講座・日本現代詩史 第1巻』. 右文書院, 1973.

請求記号: 911.1/1/110

芳賀徹ほか編.『日本文学における近代』. 1973, 東京大学出版会,  
(講座比較文学, 2). 請求記号: 901/2/388

日本文学協会編.『日本文学講座 第10巻』. 大修館書店, 1988.

(野山嘉正. 詩歌 2(近代編)収録). 請求記号: 910.8/10/86

川本皓嗣編.『歌と詩の系譜』. 中央公論社, 1994,

(叢書比較文学比較文化, 5). 請求記号: 902//268

小森陽一ほか.『ネイションを超えて』. 岩波書店, 2003, (岩波講座文学, 13).

請求記号: 908/13/265

浅田徹ほか編.『帝国の和歌』. 岩波書店, 2006, (和歌をひらく, 5).

請求記号: 911.1/5/575

東京大学教養学部国文・漢文学部会編.

『古典日本語の世界: 漢字がつくる日本』. 東京大学出版会, 2007.

『古典日本語の世界 2: 文字とことばのダイナミクス』. 東京大学出版会, 2011.

『特集, 言語資源としての日本語』. 文学. 2011, 12(3). \* 雑誌P905-15

鮎川信夫, 吉本隆明, 大岡信. 討議近代詩史. 思潮社, 1976.

柳田泉ほか編.『座談会明治文学史』. 岩波書店, 1961.

請求記号: 910.2/C/332

## ★ひろがる、本

柳父章.『翻訳語成立事情』. 岩波書店, 1982, (岩波新書).

請求記号: 080/189/19A

兵藤裕己.『太平記<よみ>の可能性: 歴史という物語』. 講談社,  
1995, (講談社選書メチエ, 61).

兵藤裕己.『「声」の国民国家・日本』. 日本放送出版協会, 2000,  
(NHKブックス, 900). 請求記号: 080/900/23

品田悦一.『万葉集の発明: 国民国家と文化装置としての古典』.  
新曜社, 2001. 請求記号: 911.1//463

奥中康人.『国家と音楽: 伊澤修二がめざした日本近代』.  
春秋社, 2008. 請求記号: 762.11/98

揖斐高.『近世文学の境界: 個我と表現の変容』. 岩波書店, 2009.

鈴木貞美.『「日本文学」の成立』. 作品社, 2009.

請求記号: 910.4/Su96

鈴木貞美.『日本語の「常識」を問う』. 平凡社, 2011, (平凡社新書, 586).

小島憲之.『ことばの重み: 鷗外の謎を解く漢語』. 講談社, 2011,  
(講談社学術文庫, 2035). 請求記号: 910.268/Mo45

齋藤文俊.『漢文訓読と近代日本語の形成』. 勉誠出版, 2011.

末延芳晴.『正岡子規、従軍す.』 平凡社, 2011.

